

# 震源域真上の危険な原発 たけだ比比例候補が浜岡原発視察

たけだ良介参院比比例候補は28日、静岡県御前崎市の中部電力浜岡原発を視察しました。すやま初美・参院愛知選挙区候補、平賀高茂静岡県議、島津衆院議員秘書や鷺山喜久・掛川



市議らも同行しました。浜岡原発内では高さ22メートルの防波壁や予備電源設備、危機管理棟などを視察しました。

様々な津波・地震対策が説明されましたが、それがかえって、同原発が南海トラフ巨大地震の震源域真上に位置する危険な原発であることを浮き彫りにしていました。

また、廃炉作業が進む1、2号機の使用済み核燃料は4、5号機の燃料プールに移動させたと説明があつたものの、その後の処理のめどは立っていませんでした。

オフサイトセンターも視察  
たけだ候補らは午前中、清水澄夫・御前崎市議の案内

で、同市の海岸から2キロほどの場所にある小山を造成した避難場所や、原発を東側の海岸から調査、また、県環境放射線監視センターや原子力規制庁のオフサイトセンターでは所長から説明を受けました。たけだ候補は「耐震の努力を見せてもらいましたが過酷事故があつた時の不安は払しょくできません」と話しました。

## 雇用促進住宅で懇談会 島津議員 たけだ候補 東海市

島津幸広衆院議員は25日、愛知県東海市で、雇用促進住宅入居者らと懇談しました。たけだ良介参院比比例候補、辻井タカ子・東海市議、森山守、久永和枝・両大府市議、三重県四日市市の太田紀子市議をはじめ、住宅の自治会長、四日市市から「全国雇用促進住宅の存続を求める会」の田中会長らも参加しました。

「高齢・障害・求職者雇用支援機構」は、2021年度(平成33年度)までの雇用促進住宅の全廃に向けて、住民合意に関係なく住宅の民間売却に入ることを6月ごろから住民

ですませようとしている」と批判。「民間譲渡すれば10年間、家賃はそのままで住めるとされており、何も変わらな」と考える住民も多いのでは」と指摘しました。辻井市議は「これまで250住宅が減らされたが民間売却は10数件だけ。売れなければ退去させられる。声を上げないと」と発言しました。

「存続を求める会」からは「政府交渉をしたい。自治会長連名の署名を作るので協力を」と呼びかけがありました。入居者からは「最近改修して新しい人も入居しているのに、廃止し、退去させられるの?」「ずっと住み続けたい」などの声が出されました。

島津議員は「佐々木憲昭元議員らの国会論戦で、政府は強制的に追い出すとは言えません。決算委員会ですり上げたいと考え、質問準備をすすめています」と述べました。

## 超党派議員で訴え コールする本村議員



本村伸子衆院議員は25日、名古屋市で、超党派の街頭宣伝に参加しました。「憲法と平和を守る愛知の会」が各党に呼び掛け、本村議員、民主党の近藤昭一衆院議員、社民党県連合の山登志浩代表(江南市議)、新社会党県本部の安田泉委員長が訴えました。

参院選岐阜選挙区に高木光弘氏  
党岐阜県委員会では来年の参院選岐阜選挙区(定数1)に県副委員長の高木光弘氏(55)を擁立すると発表しました。これで東海ブロック4県の参院選挙区候補がそろい、たけだ良介比比例候補と躍進を目指します。

略歴 名古屋工業大学工学部卒。党西濃地区委員長などを歴任。2014年から県副委員長。03年県議選、03年、05年、12年衆院岐阜2区に立候補。

岐阜・可児市議選、

静岡・南伊豆町議選で3氏が当選

26日投開票された岐阜県可児市議選で、いずれも現職の伊藤健二(62)、富田牧子(64)の両氏が当選し、2議席を守りました。

静岡県南伊豆町議選では現職のよこしま隆二(58)が当選し、議席を維持。



に通知し、説明会の開催や民間売却後の入居の希望を確認するアンケートを配布しています。森山市議は「通知はA4で20ページあり、高齢者は理解しづらい。説明会は自治会長だけ